

園芸科学科

アサガオ苗を保存会に贈呈



大野会長（手前左）らに苗を手渡す飛騨高山高の生徒＝高山市上一之町で

高山の町アサガオで彩る

飛騨高山高生、保存会に苗贈呈

夏に向けて高山市中心部の古い町並みを青い花々で彩ろうと、同市の飛騨高山高校園芸科学科の生徒が18日、アサガオの苗を上三之町町並保存会に贈った。

一環で1993年から苗を配っており、今年も同保存会など12団体に計833株を託す。生徒7人が育てた「ヘブンリーブルー」というさわやかな青色の花を咲かせる品種で、7月下旬から10月頃まで楽しめる。

18日は飛騨高山まちの博物館（同市上一之町）で贈呈式があり、生徒4人が保存会の大野二郎会長らに苗を手渡した。花いっぱい企画推進委の一本木昭委員長が「高校生が丹精を込めて育ててくれた。初夏を迎える町できれいな花を咲かせてくれれば」と話した。

（北川鈴乃）